

かくだ

第187号

平成28年5月1日



録画配信はじめます
※詳細は12・16ページ

Kakuda city



▲各地区振興協議会との角田市議会一般会議開催のようす（平成28年3月29日「角田市役所301会議室」にて）

■おもな内容■

第381回定例会

- ◇本会議の概要……………2～4
- ◇予算審査特別委員会審査から……………3
- ◇審議結果一覧……………4
- ◇一般質問……………5～11

第382回臨時会

- ◇本会議の概要……………12

- ◆角田市議会からのお知らせ……………12
- ◆議会運営委員会行政視察……………12
- ◆角田市議会一般会議を開催しました……………13
- ◆第10回議会報告会……………14・15
- ◆平成27年度行政視察の受け入れ状況……………15
- ◆議会日誌……………16
- ◆6月定例会日程（予定）……………16
- ◆編集後記……………16

新年度予算議案など

36議案を審議しました

第381回定例会は2月19日に招集され、市長提出議案が34件、諮問1件、議員提出議案1件あわせて36件の議案を審議しました。
このうち新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、条例議案については、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。上程された議案は、慎重に審議され、27日間の会期を経て3月16日に閉会しました。

本会議

◎第1日（2月19日）

会期を3月16日までの27日間と決定した後、市長から損害賠償額の決定及び和解についての専決処分報告がありました。

次に、人権擁護委員の候補者の推薦について提案理由の説明があり、審議の結果、原案のとおり適任の答申をすることに決定しました。

その後、平成27年度各種会計補正予算のほか、平成28年度角田市予算案及び施政方針に関する説明等があり、そのうち専決処分の2議案については、審議の結果、原案のとおり承認しました。

◎第2日（2月29日）

初日に承認した2議案を除く31議案に対し、渡邊誠議員、日下七郎議員、八島定雄議員の3人が質疑を行いました。

上程された議案のうち、条例関係1議案は総務財政常任委員会に付託し、平成28年度各種会計予算関係8議案については、予算審査特別委員会（細川健也委員長、八島定雄副委員長）を設置して付託しました。

◎第3日（3月3日）

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてなど、条例の一部改正14議案について

◎第4日（3月14日）

一般質問が行われ、7人の議員が市政全般について質問を行いました。

その後、角田市学校給食センター厨房用備品等の財産の取得について、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

◎第5日（3月15日）

2月29日に設置された予算審査特別委員会は、3月11日までの12日間にわたり平成28年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。

◎第6日（3月16日）

総務財政常任委員会に付託された条例関係1議案について、小湊毅委員長から審査の経過及び結果の報告があり、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

前日に引き続き、7人の議員が市政全般について質問を行いました。
(8～11ページ参照)

◎第6日（3月16日）

総務財政常任委員会に付託された条例関係1議案について、小湊毅委員長から審査の経過及び結果の報告があり、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

次に、予算審査特別委員会に付託された新年度予算案について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

続いて、角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について提案理由の説明があり、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

最後に、意見書の提出に関する議員提出議案1議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

人事案件

※○は新任 ◎は再任

▼人権擁護委員の候補者の推薦

- ◎佐藤 義友（西根1区）
- ◎荒井 秀一（藤尾3区）
- ◎菅野 博子（枝野6区）
- 任期 平成28年7月1日～平成31年6月30日

主な補正予算の概要

▼平成27年度一般会計（第8号）
歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億7,877万1千円を減額補正するとともに、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

歳入の主なもの、社会資本整備総合交付金の減で、歳出の減額の主なものは次のとおりです。
・住社橋橋りょう整備事業
・道路舗装事業

条例の制定

▼職員の仕事管理に関する条例の制定について

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴い、同法による改正後の地方公務員法の規定により、職員の退職管理の適正な確保のために必要と認められる措置を講ずるため、条例の制定を行うものです。

○施行期日 平成28年4月1日

条例の一部改正の主なもの

▼角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について

放課後児童クラブの開所時間の拡大と利用料の見直しを行うため、所要の改正を行うものです。

主な改正内容

区分	開所時間	月額利用料	
改正前	学校授業日	放 課 後～午後6時	2,000円
	学校休業日	午前8時30分～午後6時	
	土 曜 日	午前8時30分～午後6時	
改正後	学校授業日	放 課 後～午後6時30分	2,500円
	学校休業日	午前8時～午後6時30分	
	土 曜 日	午前8時～午後6時30分	

○施行期日 平成28年4月1日

陳情の処理

▼「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」の提出を求める陳情

意見書の提出

国の関係機関へ次の意見書を提出しました。
▼軽度外傷性脳損傷及び脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める意見書

▼「賑わいの交流拠点施設整備基本計画」の早期実現に関する陳情

角田市島田字光畑57番地1
枝野地区振興協議会
会長 高橋 達征

▼軽度外傷性脳損傷及び脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情

大阪府東大阪市六万寺町三丁目12-33
軽度外傷性脳損傷仲間の会
代表 藤本 久美子

▼歩道の設置についての陳情

角田市角田字南61番地4
立町行政区
区長 吉田 憲夫

仙台市青葉区台原三丁目18-6
宮城県商工団体連合会婦人部協議会
会長 菅原 恵美子

予算審査特別委員会審査から

2月29日に設置された予算審査特別委員会は、3月11日までの12日間にわたり平成28年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。

3月3日は一般会計の趣旨説明、質疑を行った後、小湊毅委員長より通告のあった「賑わいの交流拠点施設整備事業」について、議員間自由討議を行いました。

4日は特別会計及び水道事業会計の趣旨説明、質疑を行った後、委員会に総務財政分科会、教育厚生分科会及び産業建設分科会を設置し、各分科会において7日と8日に審査を行いました。

11日は各分科会会長から審査結果の報告

があり、質疑を行いました。

その後、発議者小湊毅委員長、賛成者日下七郎委員ほか2人より、平成28年度角田市一般会計予算に対する修正動議（歳出7款1項5目賑わいの交流拠点施設整備費の12節役員費の手数料、13節委託料及び17節公有財産購入費の削除等の修正）が提出され、修正動議の説明、質疑、討論、表決を行い、修正案は否決し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、特別会計及び水道事業会計予算についても表決を行い、原案のとおり可決すべきものと決しました。

各種会計歳入歳出予算は、表1のとおりです。

表1 平成28年度 各種会計予算総括表 (単位：千円、%)

会計区分	平成28年度	平成27年度	比較		
	金額	金額	金額	増減率	
一般会計	13,260,000	13,876,482	▲616,482	▲4.4	
特別会計	国民健康保険事業	3,853,745	4,038,368	▲184,623	▲4.6
	後期高齢者医療	353,751	340,606	13,145	3.9
	介護保険	3,158,711	3,060,005	98,706	3.2
	公共下水道事業	1,454,909	1,639,676	▲184,767	▲11.3
	農業集落排水事業	104,709	110,177	▲5,468	▲5.0
	東根財産区	967	633	334	52.8
	計	8,926,792	9,189,465	▲262,673	▲2.9
企業会計	水道事業				
	収益的支出	1,111,746	1,060,168	51,578	4.9
	資本的支出	420,195	760,078	▲339,883	▲44.7
計	1,531,941	1,820,246	▲288,305	▲15.8	
合計	23,718,733	24,886,193	▲1,167,460	▲4.7	



英語版角田市のPR用パンフレット作製について

馬場道晴 議員

議員▼現在、本市とアメリカ合衆国インディアナ州グリーンフィールド市、角田高校もアメリカ合衆国デラウェア州ドーバー高校と姉妹校協定を締結し国際交流事業を行っています。英語版のPR用パンフレットが、本市を国際交流事業に参加する保護者のPRから、ぜひ英語版のPR

用パンフレットを作成してほしいとの要望をいただいたのですが、市長の考えを伺います。市長▼グリーンフィールド市との交流用に簡易な英語版のパンフレットを作成します。なお、インバウンド観光に対する外国語入りの観光パンフレットや案内標識も必要な国際化社会ですので、検討課題と受けとめます。子ども医療費助成制度の拡大について

議員▼市内に住宅を購入し引っ越してこられた市民の方から、「角田市では所得制限があるので驚きました。以前住んでいたところでは所得制限はなかった。所得制限をなくしてほしい」と言われまくりました。今後の子育て家庭に対する負担軽減策として、所得制限をなくす考えはあるのか伺います。市長▼所得制限撤廃に係る財源は、角田市独自の施策となり約1,300万円必要になります。これは全て一般財源による対応になり、宮城県で行っている乳幼児医療費助成制度の拡充がなされない限り、角田市だけではなく県内の市町村は厳しい財政状況と相まって慎重な対応が必要ですが、子育て家庭への経済的負担の軽減など、子育て

て家庭への生活支援策が急務であり、併せて県内、仙南圏域も所得制限を撤廃する自治体が多くなってきたことから、今後、国・県の動向をはじめ県内自治体の対応状況や角田市の財政状況を見定めながら、所得制限の撤廃に向け前向きに検討・対応したいと思っております。議員▼助成対象年齢を引き上げる考えはないのか伺います。市長▼18歳まで年齢を引き上げると、一般財源の対応で約1千万円がさらに上乗せとなり、子ども医療費は1億円を超える事業になります。県内の動向を見ると、人口の多い市町は、現在以上対象年齢を引き上げることは大変厳しいと判断しています。対象拡大の市町村間競争が激化し、消耗戦になっていく状況を懸念する声も聞かれます。先ほどの所得制限撤廃と同様に、県の乳幼児医療費助成制度の拡充等がなされない限り、対象年齢引き上げは、財政状況や後年度における市の負担を考えると難しい状況にあると言わざるを得ません。これについても国・県の動向あるいは県内自治体における対応状況を見ながら、必要に応じて適宜検討を行い対応したいと考えています。

議員▼本年夏に任期満了に伴う角田市長選挙が予定されており、市長の任期満了に伴う選挙の準備が急務であると考えますが、出馬される考えがあるのか伺います。市長▼東日本大震災の発災間もない平成23年3月に議決をいただいた角田市第5次長期総合計画は、市民の将来の夢がたくさん盛り込まれたものであり、夢が実現への道はありますが、震災で出鼻をくじかれ、夢のまた夢となったままだったかのように思われました。しかし、私たちは平成27年度までの震災復旧・復興基本計画を策定し、この5年間で角田市民のたゆまぬ努力と忍耐、結束力と実行力の結果、昨年の市民センター・かくだ田園ホールオープンをもつて見事復興を成した大震災で計画が少し遅れていますが、後半5年間の計画遂行に向けての布石は、しっかりと打ってきていますので挽回できると信じています。角田市第5次長期総合計画を策定した責任者として、

角田市政を継続していく使命と義務と責任があります。従いまして、3期目を目指してこの夏の市長選挙に出馬する意思を固めました。議員▼選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げられる公職選挙法の改正が行われ、今年夏の参議院議員選挙から18歳選挙権が導入される予定ですが、今後、小・中学生の時から、政治に対しての興味を持たせるような取り組みを行う考えがあるのか伺います。教育長▼現行の小・中学校の政治に関する指導は、学習指導要領のもとに行われており、子ども達の生活と、政治・行政の類似性をより強く配慮すること、政治に対する興味・関心を養っていき、18歳選挙権行使に対応して、当然、それ以前の教育として、小・中学校の指導内容、方法が変化す



市長の所信について

堀田孝一 議員

と考えると考えられますが、現在取り組んでいる高等学校での対応が明確になることで、そこへの接続と整合性を工夫することにしています。議員▼18歳からの選挙権行使に対し、投票率向上の観点から選挙管理委員会として考えがあるのか伺います。選挙管理委員会委員長▼選挙に関心を持ってもらうことを目的に、従来から小・中学生に対し、明るい選挙啓発のポスターコンクールや標語コンクール等への応募を呼びかけるとともに、成人式において選挙啓発冊子を配布してきました。平成28年度につきましては、公益財団法人明るい選挙推進協議会発行の選挙啓発冊子を活用し、18歳を含めた新有権者の誕生月にメッセージを添えて送付し、選挙啓発を行っています。また、教育委員会とも協力し、若者層の主権者教育というものにつまきましても、今後活動して

表2

第381回定例会審議結果一覧

議員数は18人。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			政友会	クラブみんしん	日本共産党角田市議団	創生活会	無会派
市長提出議案							
人事案件							
人権擁護委員の候補者の推薦について	2月19日	適任	○	○	○	○	○
豊後券							
角田市市税条例の一部を改正する条例の一部改正について 平成27年度角田市一般会計補正予算(第7号)	2月19日	承認	○	○	○	○	○
平成27年度補正予算							
角田市一般会計補正予算(第8号)	3月3日	可決(賛成15 反対2)	○	○	×	○	○
角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 角田市介護保険特別会計補正予算(第3号) 角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 角田市水道事業会計補正予算(第2号)	3月3日	可決	○	○	○	○	○
平成28年度当初予算							
角田市一般会計予算	3月16日	可決(賛成13 反対4)	○	○	×	×	○
角田市国民健康保険事業特別会計予算 角田市後期高齢者医療特別会計予算 角田市介護保険特別会計予算 角田市水道事業会計予算	3月16日	可決(賛成15 反対2)	○	○	×	○	○
角田市公共下水道事業特別会計予算 角田市農業集落排水事業特別会計予算 角田市東根財産区特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○
条例							
職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 職員給与に関する条例の一部改正について 職員給与に関する条例等の一部改正について 農業委員会の求めにより出頭した者に対する旅費支給条例の一部改正について 角田市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	3月3日	可決	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について 角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について 角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について 介護保険条例の一部改正について	3月3日	可決(賛成15 反対2)	○	○	×	○	○
角田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等に関する条例の一部改正について 角田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の一部改正について 角田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○
職員退職管理に関する条例の制定について	3月16日	(賛成15 反対2)	○	○	×	○	○
角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○
その他							
財産の取得について(角田市学校給食センター厨房用備品等)	3月3日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
議決年月日							
議決結果							
政友会							
クラブみんしん							
日本共産党角田市議団							
創生活会							
無会派							
意見書							
軽度外傷性脳損傷及び脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める意見書の提出について	3月16日	可決	○	○	○	○	○

《各会派の構成メンバー》
 ●政友会(渡邊誠、相澤邦戸、八島利美、黒須貫、武藤広一、堀田孝一) ●クラブみんしん(谷津睦夫、湯村勇、星守夫、高橋力雄、細川健也)
 ●日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄) ●創生活会(小湊毅、武田暁)
 ●無会派(会派に属さない議員)馬場道晴、小島正副議長、柄目孝治議長



格差社会における角田市の教育への影響について

渡邊 誠 議員

議員▼市内の小・中学校の学力水準と市民の所得水準との関連について、どのよう認識を持っていますか。
教育長▼現在、市内小・中学校の学力水準と市民所得水準との関係につきましては、その分析はいたしておりません。
今後、角田市の独自の観点で実施していきますので、それに基づいたデータを分析して、改善を図りたいと思います。
議員▼市内の就学援助の過去の実績と現状について認識を伺います。
教育長▼小・中学校の要保護、準要保護児童生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費及び被災児童制度就学援助費の交付実績は、平成24年度は240人、平成25年度は228人、平成26年度は242人、平成27年度は243人、平成28年度は243人、平成29年度は243人、平成30年度は243人と見込みですが、243人

方々とも連携をとり、幅広い周知の徹底を検討していきます。
議員▼経済的困難を抱える子どもへ、経済的支援以外の対策はありますか。
教育長▼子どもたちを直接指導する学び支援という制度もありまして、子どもたちのお金の面だけではなく、時間の面でも子ども達を支援していきたいと考えています。
議員▼角田市への定住条件とする「仮称」角田市育英会奨学金返済補助成制度」を創設してはいかがでしょうか。
市長▼定住化対策の一環として、「仮称」角田市育英会奨学金返済補助成制度」を創設してはどうかという点ですが、幾つかの問題点がありまして、整理しないと実現はなかなか難しいと考えています。先進事例などを調べまして、検討していきたいと思っています。
【渡邊議員のその他の質問】
○地区振興協議会の要望事業進行状況表について



保育所の整備について

相澤 邦戸 議員

議員▼平成30年4月開所予定の保育所や認定こども園（以下「保育所等」という）の建設・運営は、0才児からの教育を重要としている角田市にとって大きな位置付けにあると考えます。
民設・民営による整備運営としたのは「行財政集中改革プラン」と「角田市定員適正化計画」によるものとしていますが、

その他の理由はあるのか伺います。
市長▼その理由としては、民設・民営による国の補助金の対象となり市の財政負担が軽減されることにも、民間活力を活用できるからです。
議員▼民間で保育所等を運営する場合、市の教育方針などがしっかりと伝わっていくかお考えですか。
市長▼保育基準など、運営の方法をしっかりとやればできると思います。
議員▼認定こども園の建設を考えているのは、どのような理由からなのか伺います。
市長▼保育所待機児童対策を第一とし、幼稚園機能の分野では、私立幼稚園を考慮しながら行っていく予定です。
議員▼民営となった場合、角田市の教育の神髄である「0才児からの教育」をどのように事業者に伝え、検証していくのか伺います。
教育長▼公立・私立を問わず、市内の幼稚園・保育所・児童館等の皆様に参加いただく幼児教育懇談会に参加していただき、その中で教育委員会の考え方を事業者へ説明していただければと思います。また、幼児教育懇談会で検証方法も含めて検討していきます。

議員▼全国的にも保育士確保が困難な状況となっていますが、職業への意識の高揚や誇りを持つて

働けるような処遇改善も必要と思いますが、考えを伺います。
市長▼角田市では、公立保育所等で働く保育士の処遇改善を段階的に取り組んでいますが、賃金を上げるだけではなく、近隣市町と保育士の取り合いになるので、安定的に働いていただくための対策を講じたいと思います。
議員▼これからの保育を行う場として、家庭で保育をしている方や高齢者の方と交流してほしいのですが、いかがですか。
市長▼今後、検討していきます。
議員▼保育所等の設置場所の選定基準について伺います。
市長▼2カ所での設置を考慮しています。選定条件は①1カ所当たり3,000㎡程度の面積、②市街地の中心部、③安価な用地取得、あるいは市有地の有効活用等です。また、子どもの居住地を配慮することも必要と考えています。現在検討を重ねていくところであります。
議員▼子ども達が健康的に育つための場所としては、日当たりが良いところが、安心して静かに昼寝ができることなど、混雑しないところなどがあり、人間として豊かに育って欲しいと思いますので、さらなる検討をお願いいたします。



角田市としての都市像について

武田 暁 議員

議員▼角田市都市計画マスタープランの中で、土地利用構想として6つのゾーンが設定されています。この6つのゾーンそれぞれについて、今後、持続可能な具体的手法について伺います。
市長▼角田市は住宅都市でもない、商業都市でもない、住む環境としても十分ではないと言われてきました。盆地性の自然環境を活かしたユートピア的な考えで街づくりを行いたいと考えています。また、街は街らしくなければならぬため、急速に空洞化が進む中心市街地に人を集積することが最も重要だと考えます。
議員▼6つのゾーン設定と今後の産業構造、そして人口動態等への対応について伺います。
市長▼市街地ゾーンに各種施設をコンパクトに集め、集積のメリットを活かします。また、田園環境ゾーンでは、農林業を継続しますが課題は急速な人口減少です。U・Iターンや多世代同居を促進するなどの定住対策を進めつつ、持続可能な地域づくりを模索します。一方、西根の毛萱地区と藤尾地区にそれぞれ1カ所ずつ工業振興ゾーンを設定しており、企業誘致を進め、ゆとりある生活ができる地域となるよう検討します。
議員▼都市づくりの目標である「安らぎ」「豊か」「魅力」と市民ニーズとの整合性について伺います。
市長▼平成24年2月に市民アンケートと高校生アンケート調査を行い、それぞれ943人と183人から回答を得ており概ね市民ニーズを反映していると思います。角田市

の改善すべき点として、交通や買い物不便なこと、医療福祉施設が少ないこと、雇用が少ないことが指摘されました。特に高校生の回答では、「進学・就職等で角田市を離れた後に角田市に戻ってきたいか」との設問で45%が「戻りたくない」との回答であったことから、今後、戦略的対策を検討していきます。
議員▼災害に強い都市構造におけるハード、ソフト両面の施策について伺います。
市長▼角田市都市計画マスタープランで定めた計画に沿って一つひとつ具現化していきます。水害対策の中でも特に市街地の内水排除施設が重要なため、江尻排水機場の維持管理と運転操作をおぶくま川水系角田地区土地改良区と連携します。
議員▼新たに建設する保育所等は、浸水区域外に建設することが望ましいと思いますが、いかがですか。
市長▼そのように心配される必要はないと思います。現実には沿った形で街づくりは行うしかありません。
議員▼現実に即ずというならば、現実に利用される方々のお話を伺い、説明を行った上で建設を進めてください。



角田市らしい福祉について

高橋 力雄 議員

を検討してはいかがでしょうか。
市長▼今の時代にあった一番良い方法だと思います。市職員を減らざるを得ない状況の中で、市民の方々にサポートしていただくということは大変ありがたいことです。組織化にするためには、NPO法人等の責任が持てる組織体制にするなど、少し研究させていただきます。

議員▼地域包括支援センターで行っている認知症サポーター養成講座を受講された皆さんの中で、ご協力いただける方々を組織化し、認知症・介護予防に取り組んだら角田らしい事業になると思いますが、市長の考えを伺います。
市長▼認知症サポーター養成講座は、平成21年度に始まり、平成28年3月1日現在で、2,435人の方が受講されています。認知症サポーターの活動は現在、組織化されていませんが、色々な活動への参加をいただいております。ご提案いただきました認知症サポーターの組織化については、前向きに検討させていただきます。
議員▼認知症サポーターの活動を地域包括支援センターだけでなく、外部で組織化

スペースタワー・コスモハウスの体験型学習棟について

議員▼スペースタワー・コスモハウスの体験型学習棟を有効に活用するためには、ソフト面が重要だと思えますが、どのように運営されるのか伺います。
市長▼親子宇宙教室と宇宙ツアーを拡大したいと思っています。特に宇宙教室は2年前からスポー

ツコミュニケーションかくだとの連携も開始していただきますので、十分なスペースを確保することです。さらに推進できると思っています。角田市スペースタワー・コスモハウスは、指定管理者に管理運営をお願いしていますが、今回の施設拡大に伴い、人的・財政的な面について補強していかなければならないと考えています。
議員▼設計段階から使い勝手の良い施設とするため、ソフト面を提供する方々のご意見を反映していくことが大切と考えますが、いかがですか。
市長▼皆さんのご意見をお聞きして、それを反映していくのはもちろんのこと、関係者の方々に色々とご助言、ご指導いただながら進めていきたいと考えています。



子ども医療費助成事業の助成対象年齢の引き上げと入院時食事療養費の助成実施について

日下七郎 議員

議員▼角田市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の規定によると、母子・父子家庭の中学生3年生までの児童にあっては、角田市子ども医療費の助成に関する条例第3条第1項に規定する助成対象者と理解してよいのか伺います。

市長▼その通りでありまして、母子・父子家庭の中学生3年生までは、子ども医療費の助成対象者として現物給付方式として行っております。

議員▼児童の教育を担っている先生にとつて、教師用指導書は教材研究として大切な参考資料の一つです。

それぞれ各学校に配備していると聞いています。議員▼角田市ではどうなっていますか。

議員▼中学校の場合、これについてどのような考えを持っておられるのか伺います。

「教師用指導書及び研究編」を各小学校へ配備することについて

八島定雄 議員



議員▼児童の学力を保障するためにも、各小学校に1セットずつ配備し、すぐ使用できる環境を早急に実現すべきものと考えます。

議員▼教科書に基づいた指導、教育が最も必要だと思っております。

議員▼観光振興の原点は地域住民の生活を豊かにすることです。

市長▼観光事業における地域のボランティアの皆さんの活躍には感謝しております。

議員▼県庁の財政支援については、通院の対象年齢が3歳未満としているのが、その対象年齢を義務教育就学前まで引き上げるべきかと考えます。

議員▼2月に策定された「角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「まち・ひと・しごと」という)の「人口ビジョン」では、平成72年に半減すると推測される本市の人口を、対策を講じて2万人を確保するとの目標を掲げています。

市長▼同感です。戦略を練ってPR活動をしていきます。

議員▼昨年「角田市子ども子育て支援事業計画」(以下「支援事業計画」という)が策定され、待機児童解消を見据えながら角田保育所の移設認定なども園の新設が提案されました。

人が輝く「稼ぐ観光」の振興について

八島利美 議員



トや観光事業が持続的に見えるような仕組みづくりや、ボランティアの負担が過重にならないよう経費を軽減することも必要だと考えます。

議員▼角田市のPRについて、インターネットを活用したSNSや動画配信など有効と考えます。

議員▼今年「角田市子ども子育て支援事業計画」(以下「支援事業計画」という)が策定され、待機児童解消を見据えながら角田保育所の移設認定なども園の新設が提案されました。

市長▼同感です。戦略を練ってPR活動をしていきます。

議員▼昨年「角田市子ども子育て支援事業計画」(以下「支援事業計画」という)が策定され、待機児童解消を見据えながら角田保育所の移設認定なども園の新設が提案されました。

角田市の人口ビジョン、特に子育て支援事業について

黒須 貫 議員





温故知新、角田市の食を改めて見直すことについて

小湊 毅 議員

議員▼昔から食べてきた食糧が、角田の地域性を最もよく表しているものだと考えますが、我々の世代では分からない料理が多々あります。現代の方が知っていたら、たまたま、昔の料理を再現してやる必要があるのでは

議員▼食について、年配の方の知恵、知識を後世に伝える必要があると考えています。食材を含め

非常に重要だと考えています。これまでどのような連携ができてきたのか。非常に重要だと考えています。これまでどのような連携ができてきたのか。

議員▼文部科学省の平成26年度のいじめに関する全国実態調査結果によると、いじめ認知件数は、宮城県が全国で2番目に多い状況です。仙台市では中学1年の男子生徒がいじめを苦に自殺した問題を受け、いじめ対策の専任教諭を全中学校に追加し、いじめ対策を教育分野の最重要課題に掲げ、

その対策推進費に平成27年度当初予算の約5倍の2億5,000万円を計上し対応を強化しました。そこで、角田市におけるいじめの現状と対策、実態調査結果はどうであったのか伺います。

議員▼不登校の対策を伺います。教育長▼不登校は、いじめと非常に関連性が高いと認識しています。いじめによって不登校になるあるいはほかの原因で不登校になった子どもが再登校したときにいじめの対象になる傾向が見られますので、いじめと同等に取り扱っています。

いじめの実態と対策について

星 守夫 議員



いじめの事案の認知状況については、角田市内の小・中学校ごとの実態調査、アンケート調査や面談等により、教育委員会に毎月報告されています。平成27年度になってからは、2月末現在で小学校5件、中学校5件の計10件です。現時点では全て解消され、継続観察やフォローを行っています。

議員▼元教員や元警察官をいじめ対策支援員として数人採用して、問題を抱える学校に必要に応じて派遣し、対策する事業を行ってほしいと思いましたがいかがですか。教育長▼いじめ対策支援員につきましては、いじめ、不登校、虐待等、複雑に絡み合う子どもたちの生活現状を総合的に考慮するとともに、それらに対応し多忙をさわめる教職員の支援のためにも今後検討していく上で貴重なご提言として受けたいと思っております。



小中一貫教育制度の導入について

細川 健也 議員

議員▼学校教育法等の一部を改正する法律が公布され、小中一貫教育が可能となりますが、少子化やいじめ問題、学力向上等についての効果や導入する場合は課題について伺います。

現在6・3制となっている小学校と中学校の区切りは柔軟に決めることができ、4・3・2制や5・4制など、多様な区切りも可能になります。これによって、小学生が中学1年生になると、学校になじみずいじめや不登校につながるという問題が期待されます。また、中学校の内容を小学校段階で先取りしたり、教育内容の実施年度を入れか

議員▼農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案が成立し、食料安全保障の基本である農地保全の観点から、少なからぬ識者が危惧の念を表明しています。今後、どのような基準で農地委員の選任にあたるのか伺います。

議員▼現在、東の玄関口の角田中央公園周辺に「道の駅」が計画されており、西の玄関口にある「産直広場めぐり」と「周辺を三二道の駅として整備する考えはありませぬか。

議員▼南の玄関口には、角田駅、郷土資料館、台山公園、かくだ田園ホール等の街なか交流拠点が揃っています。東西南北交流拠点を完結する上で、市街地の再生をどのように進めていくのか伺います。

議員▼道の駅間の相乗効果を生むための、広域連携構想についての考えを伺います。市長▼角田市に道の駅ができれば、白石市や仙南地方の広域的な観光ガイドもできるようなります。周辺地域と連携を組む中で地域の発展を考えていこうと思っています。議員▼オール角田で、手づくりの道の駅を目指して、出来るだけコンパクトな使い勝手のいい、角田市の特色を最大限に生かした施設を建設していただきたいと思います。

武藤 広一 議員



賑わいの交流拠点の整備構想における東西南北玄関口及び広域連携について

現在、小中両方の教員免許を有する教員を多数確保しなければならぬ等、検課題は多数あり、今後、時間をかけて研究・検討していくべきものと考えます。

議員▼北の玄関口にある「JAXA角田宇宙センター」と賑わいの交流拠点としてのかわりについて伺います。市長▼「JAXA角田宇宙センター」は、国の研究開発機関であり、交流拠点という考え方には無理があると思います。しかし、角田市のシンボルとして台山公園にはH1II型ロケット実物大模型等もあり、是非とも北の

議員▼北の玄関口にある「JAXA角田宇宙センター」と賑わいの交流拠点としてのかわりについて伺います。市長▼「JAXA角田宇宙センター」は、国の研究開発機関であり、交流拠点という考え方には無理があると思います。しかし、角田市のシンボルとして台山公園にはH1II型ロケット実物大模型等もあり、是非とも北の

議員▼市街地再生のためには集客が必要であり、集客と交流人口の増加を図るためには、賑わいの交流拠点施設との連携が必要と考えます。市長▼市街地再生のためには集客が必要であり、集客と交流人口の増加を図るためには、賑わいの交流拠点施設との連携が必要と考えます。

議員▼武藤議員のその他の質問。角田市第5次長期総合計画における東西（東は藤田仙石地区、西は西根毛萱地区）工業振興ゾーンについて。姉妹都市（北海道栗山町、福島県石川町）共同による「東京事務所」の開設について。

角田市議会一般会議を開催しました

角田市議会では、表3のとおり、角田市議会一般会議（以下「一般会議」という）を開催しました。そのうち、角田市農業経営者会議と角田市商工会とで行われた一般会議については、議長あてに報告書が提出され、その概要は表4のとおりです。

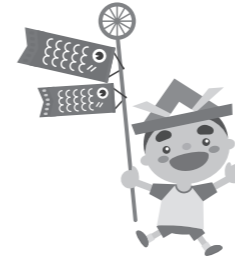
また、角田市のウェブページに報告書を掲載していますのでご覧ください。

表3 角田市議会一般会議の開催

No.	参加関係団体等名	月 日	時 間	場 所
①	角田市農業経営者会議	1月15日（金）	午後2時～午後4時20分	角田市役所 東庁舎3階 301会議室
②	角田市商工会	2月16日（火）	午後3時～午後5時23分	角田市商工会館 2階 大会議室
③	各地区振興協議会	3月29日（火）	午後2時30分～午後5時8分	角田市役所 東庁舎3階 301会議室

表4 角田市議会一般会議の概要（①・②のみ）

①角田市農業経営者会議（1月15日）				②角田市商工会（2月16日）			
会議の議題	角田市の農業ビジョンについて (1)未来を拓く角田の農業について (2)賑わいの交流拠点施設整備実施計画（案）について			会議の議題	(1)角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における商工業の振興について (2)賑わいの交流拠点施設整備実施計画（案）における商工業の振興について		
議会で対応した委員会名	産業建設常任委員会			議会で対応した委員会名	産業建設常任委員会		
参加関係団体等名	角田市農業経営者会議			参加関係団体等名	角田市商工会		
参加団体等の人数	12人	傍聴人数	24人	参加団体等の人数	13人	傍聴人数	17人
主な意見（抜粋）	<p>角田市の農業ビジョンについて</p> <p>(1)未来を拓く角田の農業について</p> <p>角田市の農業において人的資本が一番重要であるが認定農業者は、おおよそ65歳前後がもっとも多い。10年後には75歳になり、その時に誰が農作業に従事するのか非常に危機感を感じている。労働力確保については、余剰労力を活用した農業人材バンクを立ち上げることも有効であると思う。農地の集積率が高い角田市が今後、さらに農地の集積率・連たん化を進め、農作業の効率化を図ることは非常にハードルが高く、第三者の行政が介入しなければ大幅な改善は見込めないと感じる。</p> <p>農業を取り巻く課題は様々であり個人で解決できないこともある。これは水で繋がり、田んぼで繋がる農業の宿命であり、農業者のみならず広く市民と共に課題を解決すべきと考える。</p> <p>(2)賑わいの交流拠点施設整備実施計画（案）について</p> <p>市民が望む施設をつくることが望まれる。山元インターチェンジから車で5分という地の利をいかに経済効果の発展へ結びつけるかの視点がうかがえない。農業も含めた産業のコアとして世界へ発信出来る施設であるべきである。そのためのツールや具体案を議論すべき余地がある。</p>			<p>主な意見（抜粋）</p> <p>(1)角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における商工業の振興について</p> <p>小規模企業振興と地域づくり、街づくりに通ずる根本的な問題の解決、将来の角田市のために、市政の最重要課題の一つとして考えていただき、県の条例と同じ趣旨のもとに角田市版「中小企業・小規模企業の振興に関する条例」の制定も視野に入れ、小規模・零細企業が持続的に発展する取り組みを行ってほしい。</p> <p>また、角田市に定住してもらうためには</p> <p>①育児環境の整備 ②定住促進、角田・いらっしやいプランの制度の補助対象者の拡大 ③買い物の利便性の追求 ④交通アクセスの利便性の向上 等が必要との意見が出た。</p> <p>(2)賑わいの交流拠点施設整備実施計画（案）における商工業の振興について</p> <p>道の駅を活用した各種イベントなどを開催し、100万人、200万人と交流人口の増加を期待している。集まった人々を街なかへ引き込む方策を考えるのが商工会の役目だと考えている。経済効果を引き出す工夫を一生懸命していきたい。</p>			



傍聴者数 1人
インターネットライブ中継視聴者数 9人

この臨時会では、市長提出議案の平成27年度角田市一般会計補正予算（第9号）について審議しました。

今回の補正は、国の補正予算に伴い、阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金の追加によるもので、歳入・歳出それぞれ213万4千円を追加補正するとともに、繰越明許費及び地方債の補正を行うもので、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

第382回臨時会が、3月29日に招集され、1日の会期で行いました

第382回臨時会

平成28年4月1日付けで「クラブみんしん」から「市民クラブ」に会派名が変更になりました。

会派名変更について

角田市議会からのお知らせ

角田市議会本会議等の録画中継配信とスマートフォンによる視聴開始について

角田市議会では、本会議・各特別委員会・全員協議会において、インターネットによるライブ中継を行っておりますが、平成28年6月定例会から、本会議等の録画中継の配信を行うとともにスマートフォンやタブレット端末からも視聴ができるようになります。

録画中継の配信は、会議の翌日から起算して、おおむね5日後（土、日、祝日を除く）からご覧いただけます。

角田市議会中継アドレス
http://www.kakuda-city.stream.jfrc.co.jp/

議会運営委員会行政視察

●視察期間 平成28年2月2日（火）
●視察地・目的 宮城県登米市
①議場内における大型ディスプレイ設置について
②議員提案による条例の制定について

登米市議会では、様々な議会改革に取り組んでおり、議場内における大型ディスプレイ設置や議員提案による条例の制定のほかにも、平成27年1月から通年議会を導入していることやタブレット端末を活用したペーパーレス化への取り組み等を行っていました。

「議場内における大型ディスプレイ設置について」は、平成25年12月定例会から運用開始しました。現在は、70インチと80インチの2台で議場内の前と後の壁面に設置されています。

使用方法は、本会議等の会議映像を映し出すほか、書記席の職員がノートパソコンを操作し、議員から申請のあった写真等資料をディスプレイに投影します。

ディスプレイの使用にあ

たっては、電子データファイルと「議場内大型ディスプレイ使用申請書」を使用する日の前日正午までに事務局へ提出し、「議場内大型ディスプレイの使用についての申し合わせ」に基づいて、議長と事務局で使用の是非を判断し、議会運営委員会には諮らないこととし、スピーディに対応する等、議員が使用しやすい配慮がなされていました。

「議員提案による条例の制定について」は、地方自治法第100条第12項の規定による議案の審査又は議会の運営に関し、協議又は調整を行うための場として「政策企画調整会議」を会議規則に盛り込んでいます。この会議は、議長、副議長、議会運営委員会・各常任委員会・広報広聴委員会の委員長、議会改革推進会議会長の6人で構成されています。平成25年9月19日に、会派から「空き家等の適正管理に関する条例制定について」の政策提言がなされ、この「政策企画調整会議」において、条例案の検討を重ね、平成26年12月定例会において、上程、可決されました。

「通年議会の導入」については、メリットとして、災害時などの突発的な事態にも特別議会を招集できるので、迅速かつ適切に対応でき、また常任委員会は通年で調査を行うことができず。しかし、事務局の事務量が增大するなどのデメリットもあり、導入には慎重に検討する必要があると感じました。

最後に、「タブレット端末導入によるペーパーレス化の取り組み」ですが、平成28年9月から30台のタブレット（議会分のみ）を導入する予定とのことです。予算は約400万円（ソフト共）です。当局側がまだ対応してないため、しばらくは紙媒体と併用していきます。通知類や資料、議案書の一部をPDF化し配信する予定ですが、タブレットの操作方法等の議員研修はこれからで、操作に不慣れた議員もいることやペーパーレス化による事務量の増大等の弊害も懸念されるため、どこまでペーパーレス化を進めるかの適切な判断が必要になると感じます。

今回の貴重な登米市議会での行政視察研修を、今後の角田市議会の議会運営や議会改革に活かしてまいりたいと思います。

意見・要望の主なもの

議会に対して

Q 第9回議会報告会の報告を聞くと、継続審議ばかりで先延ばししている。期限を決めて取り組んでほしいのですが…

A 完全に解決していないので継続審議にしているところもありますが、継続審議の中には、できることから一部実施しているものもあります。なお、行政で対応しなければならぬ案件に関しては、期限を決めて取り組んでもらうよう、当局に要望していきます。

Q 議員定数・報酬について、角田市議会としてどのように考えているのですか。

A 現在、議員定数・報酬については、議会改革検討会議の検討項目となっております。本会議等の審議にも関わる問題等もありますことから、十分に調査・研究し、検討していきます。

Q 角田市の「ふるさと納税寄附金」の取組みについて教えてください。

A ふるさと納税寄附金については、平成27年度の当初予算で300万円と見込んでいましたが、平成27年10月16日から寄附者の利便性向上のため、インターネットによるクレジット決済を

総務財政常任委員会所管

Q 災害は、平日の日中だけに発生する訳ではありません。市の対応はどうなっているのですか。

A 気象情報などにより予測がついているときは、職員が事前に登庁し対応しています。角田市災害対策本部運営要綱には非常配備体制が定められ、平日はもちろん夜間、祝祭日等の災害発生時には、いつでも対応できる職員体制をつくっています。なお、角田市災害対策本部の本部長は角田市長となっております。

市民に開かれた 第10回議会報告会に240人

市民に開かれた 議会を目指して

角田市議会では、市民の皆様にご覧の議会活動を身近に感じていただくため、1月16日から23日まで、市内15会場に出向き開催しました。(表5参照)

はじめに「第9回議会報告会の意見・要望に対する検討結果について」の報告を行い、その後、報告に対する質疑応答や地域の課題について意見交換をしました。

表5 第10回議会報告会開催状況

開催日時	会場	対象地区	参加者数(人)		
			男性	女性	合計
1月16日(土)午前10時	野田生活センター	角田地区(野田)	10	5	15
1月16日(土)午後1時30分	中島区公民館	角田地区(西南町、東南町、立町、中島、北町、谷地町)	10	0	10
1月17日(日)午前10時	藤尾自治センター	藤尾地区	17	1	18
1月17日(日)午後1時30分	東根自治センター	東根地区	27	4	31
1月18日(月)午後6時30分	桜自治センター	桜地区	18	3	21
1月18日(月)午後7時	西根自治センター	西根地区	10	0	10
1月19日(火)午後6時30分	北郷自治センター	北郷地区	18	2	20
1月19日(火)午後7時	枝野自治センター	枝野地区	30	5	35
1月20日(水)午後6時30分	東田町公民館	角田地区(西田町、東田町、横田町)	18	1	19
1月20日(水)午後7時	横倉自治センター	横倉地区	8	1	9
1月21日(木)午後6時30分	中島下区民会館	角田地区(新中島南、新中島北、中島下、高畑南)	8	0	8
1月21日(木)午後7時	新丁三区区民会館	角田地区(新丁、新丁東、新丁西、寺前)	16	1	17
1月22日(金)午後6時30分	街なか交流サロン「ひだまり」	角田地区(東町、本町、東仲町、西仲町、天神町)	6	1	7
1月22日(金)午後7時	豊室公民館	角田地区(老ヶ崎、豊室、古豊室)	3	1	4
1月23日(土)午後1時30分	小田自治センター	小田地区	16	0	16
合 計			215	25	240

導入したこと、返礼品に農産物だけではなく市内企業の電化製品も加えたことにより、寄附件数及び寄附金額ともに大幅な増加となりました。

教育厚生常任委員会所管

Q 放射線の測定は、現在、どのようなになっているのですか。

A 毎月1回、市内小・中学校、保育所及び児童館等を測定しているほか、年2回、市内140カ所(1キロメッシュ)を測定し、市のホームページに掲載し、お知らせしています。

なお、保育所・給食センターで給食として提供している食材の放射能測定を行う計画測定や、自家生産自家消費する食品等の住民持込みの放射能測定を行う一般測定も行っています。

Q 除染作業時に出た汚染された土の保管は、どのようなになっているのですか。

角田市除染実施計画に基づき、現場保管しています。

また、除却土壌の処分については、現在、国から処分基準が示されていないため、処分基準が示された後、検討していくこととなります。

産業建設常任委員会所管

Q 地域で高齢化が進んでおり、土手などの急勾配の箇所を江払いをするのが難しい状況になっているのですか。

A 常々、水田・水路等の環境美化にご協力をいただき感謝申し上げます。

現段階では、高齢化に伴う危険箇所については、無理をせずに怪我のないような取り組みに切り替えていただければと思います。

なお、それらの現状を踏まえた草刈りの範囲や危険箇所を刈り残し部分の問題及び市の支援体制については、持ち帰り精査していきます。

平成27年度行政視察の受け入れ状況

角田市議会では、毎年多くの自治体議会議員の皆様にご覧の行政視察をお越しいただいています。

今年度は、表6のとおり10件の行政視察がありました。

視察の内容は、定住促進、地域交通、議会報告会等で、本市の先進的で特色のある取り組みが認められているものです。視察の受け入れは、情報交換の場でもあり、観光振興にもつながるもので、今後も積極的に視察を受け入れ、全国に本市のまちづくりを情報発信していきます。

表6

No.	月 日	視察自治体名	視 察 内 容
1	7月8日~9日	神奈川県相模原市議会 会派(民主・市民クラブ)	○JAXA角田宇宙センター視察 ○宇宙・はやぶさに関わる事業について
2	7月16日	長野県上田市議会 会派(上田新風会)	○議員間討議の方法について ○予算・決算委員会を中心とした議会改革について
3	7月16日	東京都目黒区議会 会派(自由民主党目黒区議団)	○市政の概況について ○震災復興状況等について
4	7月22日	東京都目黒区議会 会派(公明党目黒区議団)	○東日本大震災復興状況について
5	10月14日	熊本県合志市議会 健康福祉常任委員会	○健康づくり推進について ○総合保健福祉センターについて
6	10月15日	北海道北斗市議会 総務常任委員会	○角田市空き家バンク事業について ○定住促進策、角田・いらっしやいプラン推進事業について
7	10月22日	鹿児島県始良市議会 総務常任委員会	○デマンド型交通システムについて
8	10月28日	青森県三沢市議会 会派(拓心会)	○定住促進策の取り組みについて
9	1月25日	岩手県久慈市議会 広聴広報会議	○議会報告会の取り組みについて
10	1月29日	福島県石川町議会 議会運営委員会	○質疑・討論の通告制について ○議会報告会の取り組みについて

市議会6月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 6月 3日(金) 招集告示、会派代表者会議
- 6日(月) 議員協議会、議会運営委員会
- 10日(金) 本会議** (提案理由の説明)、
会派代表者会議
- 14日(火) 議会運営委員会
- 20日(月) 常任委員会 (請願審査)
- 21日(火) 本会議** (質疑・自由討議)、
会派代表者会議
- 22日(水) 常任委員会 (議案審査)
- 23日(木) 常任委員会 (議案審査)
- 24日(金) 議会運営委員会
- 27日(月) 本会議** (討論・表決・一般質問)
- 28日(火) 本会議** (一般質問)、
議会運営委員会
- 30日(木) 本会議**

※ 請願及び陳情等の提出期限は、6月3日(金)までとなります。

※ 本会議の開会時刻は、午前10時です。

※ **太文字**はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。

また、**インターネットを利用したパソコン、各地区自治センターのテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継**がご覧になれます。

さらに、**6月定例会からインターネットによる録画中継の配信**も行います。



※ 日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第381回(平成28年2月)定例会

傍聴者数 19人

インターネットライブ中継視聴者数 181人

23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日
センター)	議会議事局(街なか交流サロン「ひだまり」・豊室公民館)	議会議事局(中島下区民会館・新丁三区区民会館)	議会議事局(東田町公民館・横倉自治センター)	議会議事局(北郷自治センター・枝野自治センター)	議会議事局(桜自治センター・西根自治センター)	議会議事局(藤尾自治センター・東根自治センター)	議会議事局(野田生活センター・中島区公民館)	角田市議会一般会議(角田市農業経営者会議)

16日	12日	9日	5日	4日	3日	2日	1日	29日	28日	27日	26日	25日	
議員協議会	全員協議会	会派代表者会議	第381回定例会招集告示	議員研修会	宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会	協議会総会(東京都)	全国市議会議長会基地	会派代表者会議	議会議事局(登米市)	議会議事局(登米市)	議会議事局(登米市)	議会議事局(登米市)	議会議事局(登米市)

29日	26日	25日	23日	19日	18日	17日
議会議事局(第1日)	議会議事局(第2日)	議会議事局(第3日)	議会議事局(第4日)	議会議事局(第5日)	議会議事局(第6日)	議会議事局(第7日)

22日	16日	15日	14日	11日	9日	8日	7日	4日	3日	2日
議会議事局(第8日)	議会議事局(第9日)	議会議事局(第10日)	議会議事局(第11日)	議会議事局(第12日)	議会議事局(第13日)	議会議事局(第14日)	議会議事局(第15日)	議会議事局(第16日)	議会議事局(第17日)	議会議事局(第18日)

編集後記

第381回定例会(2月定例会)は2月12日に招集され、3月16日に閉会しました。2月定例会は新年度の予算を決める重要な会議であり、市長より提出された予算案は、予算審査特別委員会において慎重に審議を行いました。さらに一般質問では14人の議員が登壇し2日間にわたり活発な政策論議を展開いたしました。

さて、平成24年9月定例会からインターネットによるライブ中継を配信しており、本会議等をご覧いただけるようになりましたが、ただ今度の6月定例会からは念願でありました録画の中継も配信されることになりました。見たい時に自由に本会議等をご覧いただけるようになりますので、多くの市民の皆様にご活用いただけます。ただ今度の6月定例会からインターネットによる録画中継の配信も行います。これからも「開かれた議会」を目指し努力してまいりますので皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

議会だより編集会議

29日	25日
議会議事局(第19日)	議会議事局(第20日)